

～サービス品質向上に向けて～
釜石線シカ対策による輸送障害発生防止の取り組みについて

盛岡支社管内では、列車とシカなど動物との接触事故がたびたび発生しております。なかでも、釜石線におけるシカとの接触が特に多いため、これまでにシカの忌避効果があるとされているライオンの糞から抽出した成分を含む忌避剤の散布や、侵入防止ネットの設置を行ってまいりました。

今年からは新たな取り組みとして、列車がシカ等と接触した際も早期に運転再開ができるよう、試験的に排障器を設置しております。このような取り組みを継続して実施することで、輸送障害の発生を防止し安全安定輸送に努めるとともに、サービス品質の向上を推進してまいります。

1. 新たな取り組みについて

(1) 列車への排障器の試験導入

設置時期：2017年2月～

設置列車：キハ100系(1両1編成)

運行区間：主に釜石線、東北本線

特徴：シカ等が接触した際も、車両床下へ巻き込みにくい形状とすることで、早期運転再開を図ります。



排障器



2. これまでの取り組みについて

(1) 線路沿線への忌避剤の散布

散布時期：2004年～

散布箇所：釜石線 柏木平駅～荒谷前駅間、平倉駅～上有住駅間

特徴：岩手大学との共同研究によるもので、ライオンの糞からの抽出成分を含んだ液剤を線路沿線に散布することで、シカが線路に近づきにくくなります。

※散布箇所は2016年度の実績になります。



忌避剤

(2) 線路沿線への侵入防止ネットの設置

設置時期：2007年～

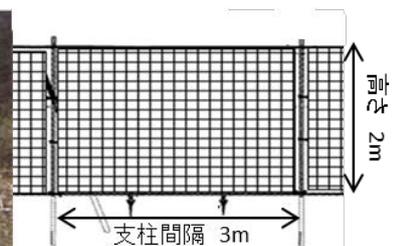
設置箇所：釜石線 上有住駅～釜石駅間

設置延長：約1.8km(線路両側設置区間)

約2.6km(線路片側設置区間)

特徴：線路沿線にネットを設置し、

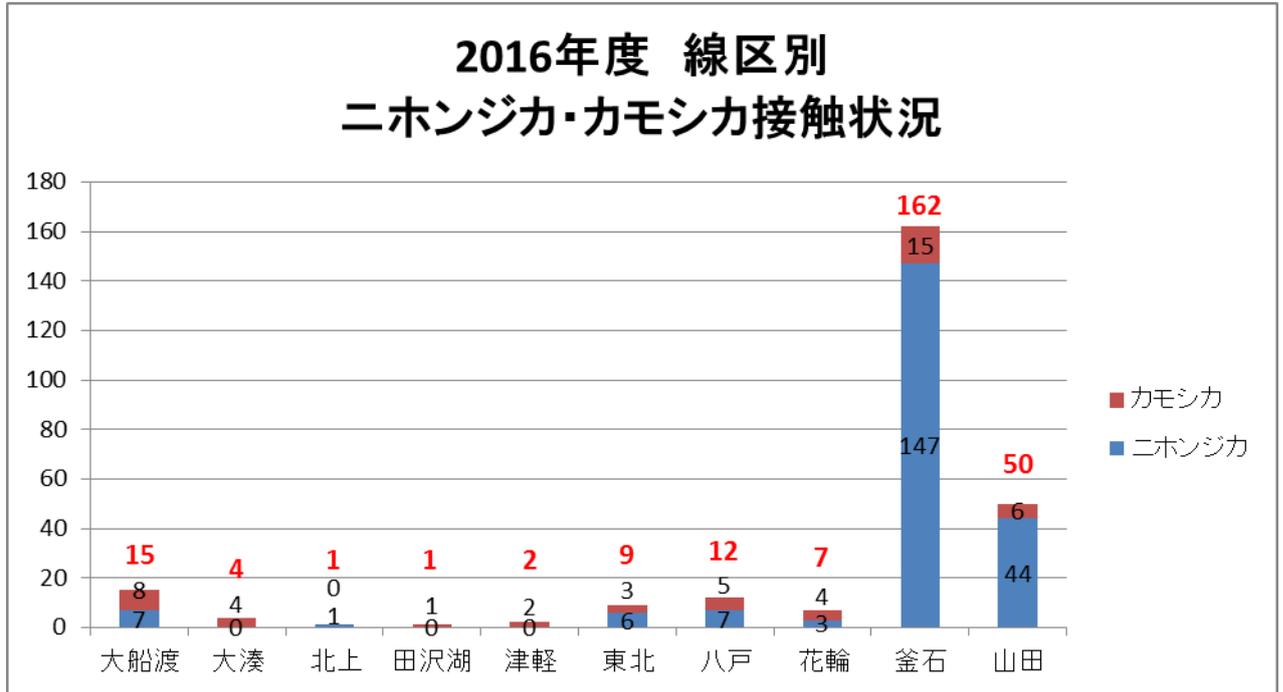
シカの線路内への侵入を物理的に防止します。



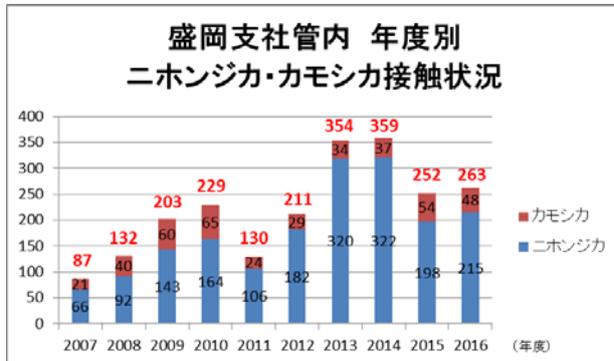
侵入防止ネット

3.線区別、年度別ニホンジカ・カモシカ接触状況

【2016年度 線区別】



【盛岡支社管内 年度別推移(過去10年分)】



【釜石線 年度別推移(過去10年分)】

